



NO.

# いちろう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

## 師走の行事

住職 平田真純

今年も早いもので、残りわずかとなりました。あと一か月ほどで、一年の区切りである正月を迎えることになり、あわただしく落ち着かない日々が、これから続くことでありましょう。そういう時期だからこそ、なるべく心を落ち着け、良い正月を迎える準備は大切であります。

十二月に入りますと、当山でも正月の準備に追われ、また師走恒例の行事も行われます。それらの行事を通して、ぜひ皆様とともに、新年への心の準備を図りたいと念願しております。

十二月七日は、本堂煤払いすすはらい（大掃除）をいたします。正午より閉堂になり、本堂内での参拝はできなくなるのでご注意ください。

翌十二月八日は本尊御宮殿御開扉ごきゆうでんごかいひで、午前九時より午後二時まで、お前立の十一面観音様のお姿を直接参拝できます。普段は御宮殿の中から皆様を見つめてくださっている十一面観世音様に、八日当日は直接ご対面賜るわけですが、十一面様も楽しみみされていらつし

やるでしょうし、皆さまも新年に向けて明るい光明を見出すきっかけとなることでしょう。

午後二時になりますと、読経供養どきようの後、本堂内陣ないじんの板戸は閉められ、御宮殿内の煤払いを行い、聖天様並びに十一面観音様に気持ちよく新年を迎えていただきます。

煤払いは、古来十二月十三日に、歳神様を迎える準備のための大掃除に由来しているそうです。寺院では、御本尊や祀られる諸仏・諸神の供養になります。本山である浅草寺では、古来の慣習通り、十二月十三日に行われています。

十二月二十二日の冬至の日には、星祭り（星供養しんらばんしょう）の法要がございます。私たちには手の届かない森羅万象のうごきを星に託して、翌年一年の除災招福を聖天様にお祈りいたします。

そして大晦日の正午から、御本尊と山内の末社すべてを巡拝・読経をして、一年の締めくくりとなります。

その他、月例の朝まいり会や写経会、合同大般若法要などの行事もあり、ご都合がつけば、なるべく多くご参拝いただき、心に落ち着きと活力を蓄えていただければと思います。

# 待乳山便り

## 七五三 お宮参り

御宝前にてお加持を授けられました。尊天様のご加護で健やかに成長されることをお祈りしております。

並木徠粹くん



野上瑛史くん



西林快晟くん



芦田ちづるちゃん



依田衛・華乃ちゃん



菊地楓・桜ちゃん



井上真実ちゃん



吉見虹七ちゃん



田中秀昂くん



荒木雪凜ちゃん



渡邊正彦くん



齋藤真迪子ちゃん



## ジヨイフルツアー 待乳山観光

十月十八日、伊藤忠商事株式会社ジヨイフルの企画した研修旅行の一環として、カタールから四十名の方が待乳山にいらつしやいました。日本の文化に興味があるという皆様のために、大広間に当山所蔵の浮世絵を展示して自由にご覧いただいた他、住職から待乳山についての説明がありました。特に自国の文化と異なる寺院の歴史についてのお話に、興味深く耳を傾けていたようです。



## 金子家藤田家 結婚式報告

十一月三日、金子家、藤田家、ご両家の仏前結婚式が挙げられました。新郎の孝行様、新婦のあすか様がお加持をされた揃いの念珠を授けられた後、三々九度、親族固めの杯を交わされました。お二人が尊天様ご加護の下、幸せな家庭を築くことをお祈り申し上げます。



## 浅草秋のライトアップ 観月コンサート 待乳山

十一月四日午後六時から、浅草観光連盟主催のイベント「浅草・秋のライトアップ」(さくらもみじ じゅうさんや 桜紅葉に十三夜)の一環として、当山にて観月コンサートが開催されました。

十一月四日は十六夜にあたり、美しい月が出るはずがあいにくの曇天。にもかかわらず、境内に用意された八十席の座席は満席でした。

今回出演された「和楽器アンサンブル 真秀 MAHORA」は琴、三味線、胡弓、尺八からなる和風バンド。照明によって神楽殿やいちようが幻想的にライトアップされる中、和楽器の織り成す美しい音色が、秋の夜に響き渡りました。

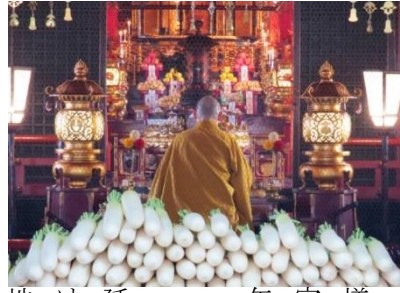
## 歓喜講富士山千年水千本 奉納

十月十五日、歓喜講が執り行われました。今年も有限会社富士山千年水様より、大根と巾着のラベルの富士山の天然水のペットボトル千本をご奉納いただきました。当日は残念ながら弱い雨が続き天気でしたが、法要終了後、参拝客に振る舞われました。ご奉納ありがとうございました。



# 十二月の御縁日大法要行事紹介

## 十一面観音様御開扉 十二月八日(金) 午前九時から午後二時



十二月八日に御本尊大聖歡喜天様のお前立ち、十一面観音様の御開扉が行われます。浴油祈祷終了後、住職によって御宮殿が開かれた後、内々陣手前にて参拝と焼香が行えます。午後二時には閉扉の法要が執り行われます。

『十一面観世音菩薩隨願即得陀羅尼經』によりますと、十一面観音様の真言を唱えれば病気の苦しみは除かれ、寿命は延び、多くの仏に守られ、貧することなく、人から信頼を受け、一切の災いから逃れられるとされ、死後は極楽に往生し、地獄に落ちることはないと言われています。

十一面観音様を拝見出来ます貴重な機会ですので皆様どうぞご参拝下さいませ。

## 聖まつり 十一月二十二日(金) 午前十一時

講金二、五〇〇円(二体増毎五〇〇円) 送料二〇〇円(十鉢ごと)

十二月二十二日、翌年の除災延命を祈願いたします。星まつり百味法要を厳修致します。

星は人の運命や寿命を司るとされており、仏教では除災、延命を祈願する際に用いる星曼荼羅ほしまんだらというものがああります。中央に北極星を表す釈迦金輪しゃかきんりんが置かれ、周囲に北斗七星、水星、金星、月などを表す仏様や動物の姿が描かれています。

古代の占いでは北斗七星が重要視され、生まれた年によって北斗七星から本命星が定められます。それらを一年で最も長い冬至に供養し、皆様の除災と延命を祈願いたします。

お名前と年齢の入ったお守りを授与致します。用紙に氏名・生年月日を記入し。寺務所にてお申込み下さいませ。



## 本堂煤払い 十二月七日(木) 十三時より

恒例の煤払いを行います。煤払いが始まりますと本堂での参拝並びにお札等の受け渡しはできませんので、午前中に済まされますようお願いいたします。

## 納めの法要 十二月三十一日(日) 正午より

この一年のご加護に感謝し、本堂をはじめ境内の各末社にお参りいたします。



## 正月行事案内

〓正月特別祈祷〓 三が日 十三時、十四時、十五時  
本堂内陣におきまして、新年の開運を祈願いたします。

祈祷料 三、〇〇〇円

〓お屠蘇接待〓 三が日 終日

本堂外陣におきまして、開運お屠蘇の無料接待がございます。

〓毘沙門天特別拝観〓 元日から正月中旬まで

普段、内々陣に安置されております浅草名所七福神の毘沙門天が拝観できます。

〓大般若講 大根まつり〓 一月七日(日) 十一時〓十四時

大般若法要の後、皆様の身体健全・厄除け祈願の風呂吹き

き大根並びにお神酒をお授けいたします。当日九時から本堂前にて整理券を配布いたします。

大根祭りお手伝い募集 大根祭りの前準備及び当日の運営

のお手伝いを募集いたします。五日、七日両日ともお手伝いいただける方のみ、寺務所にてお申し込みください。

募集人数 先着二十名



十二月、一月の坐禅の会はお休みさせていただきます。

# 十二月行事予定

## 御縁日大法要

### 御宮殿御開扉

十二月八日(金) 午前九時から午後二時 参拝 無料  
秘仏の御前立ち十一面観世音菩薩様を参拝できます。

### 星祭大法要

十二月二十二日(金) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也(一躰増毎五〇〇円)  
来年の除災延命祈願をいたします。一人一人にお守りを授与いたしますので、ご家族でお申し込みください

### 朝まいり会

十二月一日〜七日 午前八時から八時半 会費 五〇〇円也  
都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。

### 本堂煤払い

十二月七日(木) 正午から  
恒例の煤払いを行いますので、お参りは午前中にお済ませください。

### 日曜勤行

十二月十日(日) 午前九時 参加費 無料  
初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

### 写経の会

十二月十日(日) 午前十時/午後二時 会費 五〇〇円也  
心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

午後は空いていますので、落ち着いて写経が行えます。

### 合同大般若法要

十二月二十五日(月) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也  
心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

### 納めの法要

十二月三十一日(日) 正午  
この一年のご加護に感謝し、本堂を初め、各末社にお参りいたします。

### 一月の行事 御縁日大法要

#### 大根まつり

一月七日(日) 午前十一時 講金 二、〇〇〇円也

#### 百味講

一月二十日(土) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

## 祈禱のご案内

## 祈禱料

聖天様独特の供養法で

ある浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

別座祈禱 壱万円(一週間)

浴油祈禱 三千五百円(一週間)

華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は [ityou@matsuchiyama.jp](mailto:ityou@matsuchiyama.jp) までメールをお送りください。